

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ひとり親家庭応援フードパントリー事業			事業番号	014-135
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
		有	取組の方向性	①ひとり親家庭などへの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)貧困をなくそう	ターゲット	1.2	
		有	取組	ひとり親家庭の経済的安定に向けた支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	児童扶養手当受給者に占める全部支給の割合			
有	現状値	堺市：59.5%(2019年度)		目標値	全国を下回る(2025年度)			
有	現状値	堺市：59.5%、政令市：54.5%(2019年度)		目標値	政令市の割合を下回る(2023年)			

2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン		
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区役所、フードバンクOSAKA、日本フードバンクシステム、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイエー、郵便局等				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	児童扶養手当を受給するひとり親家庭で、前年所得の増加などにより、これまで満額を受け取っていたが、令和4年1月受給分から一部減額や全額停止になる人及びこれまで一部減額で受け取っていたが、令和4年1月受給分から全額停止になる人。	対象数	826	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	経済的自立に向けて取り組んでいる「ひとり親家庭」を後押しする。 また、事業利用者に支援情報等を提供し、自立の更なる後押しや、自立状態が持続するよう支援する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	経済的自立に取り組むひとり親家庭を対象に、スーパーマーケットやフードバンク団体から寄附された食料品等を、パントリーで提供する。食料品は、賞味期限内の常温保存が可能なもので、生鮮や冷凍食品は含まない。月1回程度、アプリを通じて案内し、申込まれた人のみ受け取ることができる。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)					
10	公民連携・協働事業	趣旨に賛同する民間事業者との連携により実施 ※連携事業者は5「事業の実施主体」参照				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和7年度
	利用者の満足度	%	目標値	-	100	100	100	
			実績値	-	92			
達成率			-	92%				
	当該指標を選定した理由	ひとり親家庭が経済的に安定した生活をするために、自立に向けた意欲的な行動を後押しすることが重要であるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	アンケートによる満足度						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	利用者数 (エルガナ登録者数)	人	目標値	-	300	330		
			実績値	-	345			
達成率			-	115%				
	当該指標を選定した理由	利用者に対し情報提供や情報収集を行い、個別支援や施策検討に活かすため						
	目標値の設定根拠・算出方法	アプリの登録者数						

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ひとり親家庭応援フードパントリー事業	事業番号	014-135
-------	--------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	財源内訳	0	0	755	404	858
	国支出金			755	404	429
	府支出金					
	市債					
	その他 ( )					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源			0	0	429
14	人件費 (b)	0	0	8,200	8,200	8,200
15	年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	8,955	8,604	9,058

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	消耗品	R3	決算	244	0		R3	決算		
		R4	予算	262	131		R4	予算		
	印刷製本	R3	決算	50	0		R3	決算		
		R4	予算	60	30		R4	予算		
	通信運搬	R3	決算	0	0		R3	決算		
		R4	予算	536	268		R4	予算		
	各業務委託料	R3	決算	110	0		R3	決算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
		R3	決算			R3	決算			
		R4	予算			R4	予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度	
		①	食料品の受取者数 (延べ人数)	人
②	上記①にかかる年間経費	千円	-	404
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		875

備考 (算出についての説明等) 職員の作業にかかる人件費は含まれていません

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	事業の対象者に提供する食料品は、寄附食品でまかなわれているため費用負担がなく経費はほとんどかからない仕組みである。食料品の仕分けや運搬等、職員の作業負荷が高いことを除けば、約2,000円相当の食料品を影響しているため、費用対効果が高い事業である。
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>経済的自立に向けて取り組んでいるひとり親家庭を後押し、自立状態が持続することに寄与する取組として、食料支援を実施している。事業の対象者には支援情報等をアプリのプッシュ通知で配信し周知している。また、事業の利用者には、食料支援時に手書きのメッセージカードを手渡すなど、自立状態の維持には、現在の生活の安定が不可欠であるため、必要な家庭に対し相談先の情報を提供している。</p> <p>R3年度はエスパン1stで100人、エスパン2ndで120人、エスパン3rdで135人に食料を提供し、回を追うごとに利用者数を伸ばしている。R4年度以降も新型コロナウイルス感染症等により、家庭生活に支障をきたすひとり親家庭の支援にますます寄与するものとして期待される。</p>
----	--